

# 知らぬ間に加害者になるのを防ぐ 専門家不要のセキュリティ対策とは?



「うちの会社はあまり大きくないし、ウイルスだ何だと言っても大した被害はないよ」 インターネットのセキュリティ対策について問われた際に、よく聞かれる回答だ。しかし、本当にそうなのだろうか。

**次々現れる脅威に どうやって対応していくのか?**

ブロードバンドの普及であつという間に広がったインターネットの常時接続、顧客との綿密なコミュニケーションを実現し、ビジネススタイルに変化をもたらした一方で、不正アクセスやウイルスなどの脅威に直面することになった。

自社が被害を受けるだけならまだ良いが、最近では、自社サーバーが踏み台にされ、第三者のサーバーを攻撃したりウイルスメールを送りつけるなど、知らぬ間に「加害者」にされることもある。商売は信用第一。こうなってしまうのは遅いのだ。



セキュリティ対策はあたり前 (カギをかけない家で暮らすのは論外!?)

しかし、対策は難しい面も...

人手 費用 情報収集 継続

➡ それならアウトソーシングが最適

ある。とくにITの専門管理者がいない中小規模企業では「わかっていてもできない」というのが正直なところではないだろうか。

自宅にカギをかけ忘れ「泥棒に入られた」と嘆いても同情されないのと同様、インターネットのセキュリティ対策は企業規模に関らず「もはや当たり前」の段階にきているのだ。

自動的に対策が取られ続けるので、社員の手を煩わせずとも、セキュリティが保たれるというわけなのだ。

トウェアを自動的に更新する仕組みとなっている。

「代理」としてネットワークを守る(beat-boxは富士ゼロックスが所有する機器を事業所内に設置)、この機器をプラットフォームとして様々なセキュリティサービスを提供



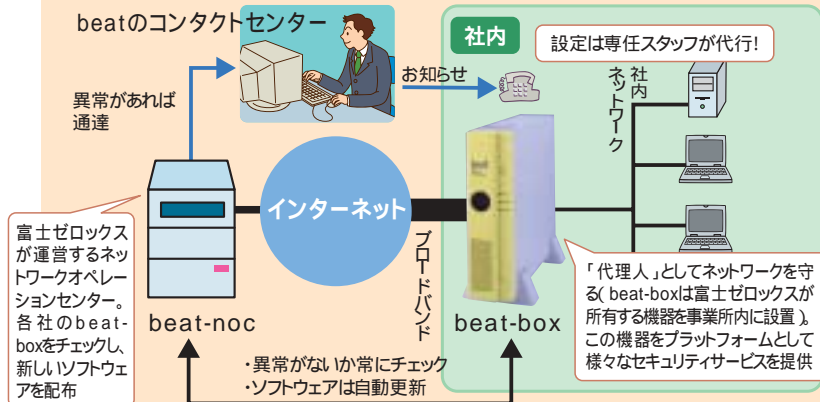
一方、beatのネットワークオペレーションセンターでは、365日24時間、各企業に置かれたbeat-boxの状況を監視しており、回線トラブル等の異常が発生するとその内容が同社のコンタクトセンターおよび利用企業に自動的に連絡される。対応は素早く、実際に本サービスを導入中の企業の例では、社内担当者が障害に気づく前にコンタクトセンターから連絡が届くこともあるという。



面から、インターネットVPN、モバイル対応などのアプリケーションサービスまで多様なメニューが用意されており(詳細はWebサイトで)、企業のニーズや成長度合いに応じてサービスを追加していただける点も使い勝手が良い。

セキュリティ対策の不備で取引先の信用を失う道も、セキュリティ対策に追われて本業を疎かにする道もいづれも選びたくはない。選ぶべきは「beat」なのである。

## 任せるから安心! 富士ゼロックス beat



### beat/basic(基本サービス)

ファイアウォール  
ウイルスチェック  
簡易グループウェア / 共有フォルダ  
コンタクトセンター  
ソフトウェア、ウイルス定義ファイルを最新に保つ 等

18,800円/月額(idcサービスなし)

19,800円/月額(idcサービスあり)

#### オプションサービス

インターネットVPN、リモートアクセス、グループウェア、PC向けセキュリティ対策...多数

詳しくは下記へ

<http://net-beat.com>

基本サービス「beat/basic」は、ウイルスチェック、ファイアウォール、リモート監視およびコンタクトセンターの利用などが提供され月額18,800円(idcが利用可)。基本サービス以外にもホームページドメインの取得代行といった手続き

「beat」なのである。

### お問い合わせ先 富士ゼロックス株式会社

beat公式サイト  
<http://net-beat.com>  
お客様相談センター  
0120-27-4100 (通話料無料)  
受付時間: 9時~12時、13時~17時  
(土・日・祝日および富士ゼロックス指定休業日を除く)